

中期計画の目標指標に係る目標値及び設定根拠等一覧

※1 該当頁は、中期計画(案)の該当ページ

※1 該当頁	a 指標	b 実績値				c 目標値	g 目標値設定根拠	h 算出式	i 備考
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成29年度			
1	救急搬送受入件数(時間内)	1,114件	1,227件	1,336件	1,268件	1,268件	時間内は現在でもほぼ受入れをしているため、現在と同水準を維持	現在と同水準を維持	
2	救急搬送受入件数(時間外)	3,133件	3,472件	3,226件	2,769件	3,036件	時間外救急車搬送受入率の目標値をもとに算出	2,769件*80/73	
3	時間外救急車搬送受入率	80.0%	76.4%	72.9%	73.0%	80.0%	過去4年間の最大値	過去4年間の最大値	時間外のみ。時間内は資料なし(ほぼ受入)
4	がん入院患者件数	1,537件	1,559件	1,608件	1,628件	1,750件		4年間伸び率平均	
5	外来化学療法件数	1,032件	1,628件	3,109件	3,289件	3,500件	①高齢化によりがん患者が増える ②大阪府がん診療拠点病院としての認知度が今後向上される ③大腸CTの導入による早期の患者把握	平成23.24年度伸び率/4	平成23年度に倍増したのは、それまで各診療科で行っていた外来化学療法を、外来化学療法室で行うようになり、それにより加算とった件数をカウントするようになったため。
6	放射線治療件数	3,424件	3,073件	4,005件	3,325件	3,500件	以上の要因により微増するものと想定	4年平均値の近似値	専門医師が平成23年度に退任し、現在は専門の常勤医が不在のため、大きく増える要素はない。
7	がん手術件数	630件	578件	613件	685件	730件		4年間伸び率平均/2	内視鏡手術を含んだ件数
8	認定看護師数	/	/	/	6人	10人	内訳としては、糖尿病、認知症、慢性呼吸器疾患看護及び救急。特に高齢化に伴い、慢性疾患に対する専門知識を持った看護師を養成することを目標とする	年間+1人	
9	紹介率	39.7%	44.8%	46.0%	36.5%	50.0%	地域医療支援病院の承認要件を元に算出。要件の維持がそもそも難しいという状況を鑑み、承認要件を今後維持するということを目標とする。	地域支援病院承認要件と実績を考慮	
10	逆紹介率	32.6%	40.2%	49.1%	63.8%	70.0%		地域支援病院承認要件と実績を考慮	

資料4

※1 該当頁は、中期計画(案)の該当ページ

※1 該当頁	a 指標	c 実績値				f 目標値	g 目標値設定根拠	h 算出式	i 備考
		b 平成21年度	平成22年度	平成23年度	d 平成24年度	e 平成29年度			
11	8 頁 経常収支比率	97.0 %	101.8 %	104.8 %	102.4 %	102.5 % (103.7%)	収支計画から算出	(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)	()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
12	医業収支比率	96.2 %	100.0 %	103.2 %	100.3 %	97.8 % (99.2%)	収支計画から算出	医業収益/営業費用	実績は繰入金を含む、目標値は繰入金含まない ()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
13	病床利用率	84.2 %	86.0 %	87.0 %	88.0 %	85.1 % (88.0%)	7:1基準を維持しようとする、大きな向上は見込めないため、現在と同水準を維持	現在と同水準を維持	()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
14	入院患者数	132,431人	135,220人	137,246人	138,501人	133,929人 (138,500人)	病床利用率が変わらないことから、大きな向上は見込めないため、現在と同水準を維持	現在と同水準を維持	()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
15	8 頁 入院診療単価	43,826円	44,551円	46,383円	48,404円	51,600円	平均在院日数を短縮することにより、単価増を見込む。	4年間伸び率平均/2	
16	外来患者数	259,580人	249,700人	246,147人	247,022人	250,928人 (256,200人)	院内目標としている数値とする。	院内目標値	()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
17	外来診療単価	9,161円	9,715円	10,300円	10,530円	11,400円	外来化学療法と放射線治療件数を微増させていることから、単価についても微増とする。	4年間伸び率平均/2	
18	後発医薬品数量シェア				47.0 %	60.0 %	厚生労働省から発出されたロードマップに基づき、目標値を設定	数量シェア	
19	9 頁 人件費比率	60.3 %	58.8 %	56.1 %	57.1 %	56.0 % (54.7%)	収支計画から算出	職員給与費/医業収益	実績は繰入金を含む、目標値は繰入金含まない ()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
20	材料費比率	22.5 %	21.7 %	22.6 %	23.1 %	26.5 % (26.5%)	収支計画から算出	材料費/医業収益	実績は繰入金を含む、目標値は繰入金含まない ()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値
21	経費比率	14.8 %	14.7 %	14.1 %	14.7 %	15.6 % (15.6%)	収支計画から算出	経費/医業収益	実績は繰入金を含む、目標値は繰入金含まない ()内の数値は、新病院の移転に伴う入院制限等の影響がない場合の数値